

赤ナマコについて

- ・西日本の岩場に多く生息している
- ・青・黒ナマコより強く収縮してボールのようになる
- ・最も単価が高く味が良い
- ・安定的に種苗を生産することが難しい
- ・繊細な神経質なナマコ



青・黒ナマコについて

- ・内湾の砂泥底に多く北海道にも分布している
- ・青ナマコと黒ナマコは同じ場戸介に住んでいる
- ・DNAの結果青ナマコと黒ナマコは同種



ナマコを増やすために

- ・貝殻敷設によるナマコの発生場造りや種苗放流で稚ナマコを増やすことが資源安定に役立つ



ウニのながみ



- ・背中側に肛門
腹側が口になっている。
- ・ウニの体は
消化管と生殖巣が大部分

ウニの口には五枚歯の強力な咀嚼器がある →



#ナマコの生態

そのルックから想像できる通り、ナマコはとてものんびりやさんです。住み家は岩礁や海中の砂り地。

海底をぐぐり這ってエサである有機物を食心約3年で体長10~15cmほどに成長します。それでも移動速度は毎分1~10cm。



#キユビる

ナマコは、身に危険を感じるとうり肛門から吐出する水の種類が、ナマコは消化管内臓で残り水、キユビる器官、食用なこの水と、水この器官を排、てお5分内臓のものを吐出し、排、食用以外のものを吐出する外、キユビる器官、ついで内臓の種類は、その効果は同じ、敵に殺された瞬間の動き、呼吸を止めてしまします。

食餌の攻撃は内臓を吐き出す「キユビる」と書きます。

#ナマコの体の特長
ナマコは、脳や目がな、いから頭とは言わないけど、下向きに口がついて、いるほうの前で反対側がお尻といわ水で、ナマコには、イボ足と呼ぶ、水突起がたたく人ある。

#ナマコの食生活・排泄

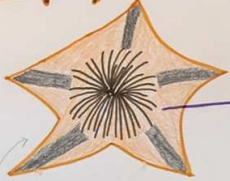
ナマコは、胃と腸で分解し、消化されが、たものは肛門から排泄される。サンゴの骨格にかかせない炭酸カルシウムを放出する。うんちも生態系に大きな影響をおかしている

ナマコは前方にある開きで砂や泥をせせと運び、砂や泥の間の有機物をすくって食べている。砂と泥を食べて、砂を排泄するの。

「海の掃除屋さん」と言われています。

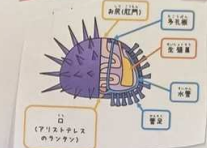


ヒトデとウニについて ウニの体の仕組み



ウニが逃げる

ヒトデの上にウニをのせた



ウニの殺



ウニのトケ



ヒトデの体の仕組み



赤潮



きれいな海



サマリの漁業の様子



海のごみ



生き物に対して

知。て

呼び掛ける

これが大切

